

Combi

コンビ ジュニアシート ジョイトリップ アドバンス air シリーズ

取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書は背もたれカバー側面の取扱説明書収納ポケットに保管してください。
- 42 ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。



お使い
いただく
前に

使いかた

お手入れ・
その他

本製品は、UN R129/03において認可されたi-Size プースターシートです。

- ISOFIX型ジュニアシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具（バー）を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書でISOFIXサイズクラスに適合しているか確認してください。

- UN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。

お子さまの条件

身長：100cm～150cmまで



危険

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。
身長 100cm～150cmまで



注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

もくじ

お使いいただく前に

お使いいただく前に.....	2
各部のなまえ.....	3
ご使用の条件.....	5
取り付けできる座席.....	6
車両シートベルトの種類と使用上の注意	7
取り付けできない座席.....	8
安全にお使いいただくために.....	10
組み立て.....	17

使いかた

取り付け準備.....	20
車への取り付けかた.....	22
車からの取りはずしかた.....	29
ヘッドガード位置の調節のしかた.....	31
お子さまの座らせかた.....	32
取り付け完了チェックのしかた.....	35

お手入れ・その他

カバーの取りはずしかた・取り付けかた	37
お手入れのしかた.....	40
保管・廃棄のしかた	41
品質保証書.....	42
問い合わせ先.....	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ ジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

〈中古品のご使用について〉

- ・使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ・ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、ジュニアシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	ジュニアシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

●ご使用前に、42ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- ①製品名とロットNo.（座面側面に貼ってあるシールに記載されています）
- ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③販売店名

●レシート（領収書）を本書と一緒に保管してください。

※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

※ 製品により仕様が異なる場合があります。

また製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

お
使
い
い
た
だ
く
前
に

梱包内容

●本体



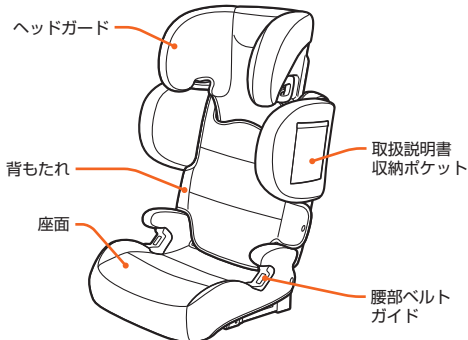
●取扱説明書（本書）



●お客様登録カード



正面



お使いいただく前に

背面

ヘッドガード
調節レバー

肩部ベルト
ガイド

コネクター解除レバー

インジケーター
(緑:ロック)

インジケーター
(赤:ロック解除)

座面側面



ロット No.

コネクター

ご使用の条件

お子さまの身長に合わせて以下のモードで使用します。

お使いいただく前に

使用状態		
条件	身長 100cm ~ 150cm まで	
お子さまの拘束方法	車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
ジュニアシートの車両への固定方法	A	B
	コネクターとお子さまを拘束している車両シートベルトで車両座席に固定します。	お子さまを拘束してる車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。



危険

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。
身長 100cm ~ 150cm まで

取り付けできる座席

ISOFIX型ジュニアシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具（バー）を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適合しているか確認してください。

車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

www.combi.co.jp/store/pages/childseat_search.aspx

本製品のISOFIXサイズクラス

お子さまの身長	固定具
100cm～150cm	B2

コンビ 適合 検索



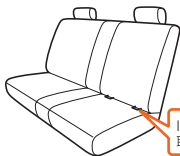
※ 身長が135cmを超えるお子さまにご使用の場合、全ての認可された着座位置に取り付けられるものではありません。

お使いいただく前に

ISOFIX取付金具について

ISOFIX取付金具とは、ISOFIXジュニアシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具（バー）です。

車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



車両シートベルトの種類と使用上の注意

ジュニアシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

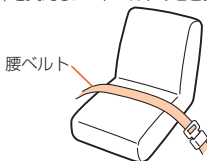


危険

- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。
本来の機能を果たさず、大変危険です。

2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



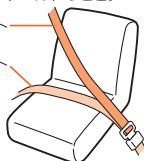
3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



肩ベルト

腰ベルト



シートベルトの種類と特徴(見分けかた)		取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとジュニアシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。 シートベルトを1度戻して、ジュニアシート固定機能を解除してから取り付けください。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	使用できません。

※ シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

取り付けできない座席



お使いいただく前に

下記以外の座席でも、ジュニアシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

※ 助手席への取り付けはエアバッグの有無に関わらずおすすめできませんので、車種適合調査は行っておりません。

●エアバッグ装備の座席。

… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



●極端なバケットシート。

… 座面の中央が深くへこんでいる座席。



●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



●車両ヘッドレストが極端に出っぱっている座席

… 車両ヘッドレストの形状により、リクライニング操作やジュニアシートのヘッドレスト調節操作ができない座席。

※ 車両ヘッドレストが 取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になれば、その座席でも取り付けできます。



取り付けできない座席

お使いいただく前に

- 車両シートベルトの付いていない座席。



- パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

… 車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



- 2点式シートベルトの座席。



- 車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。

… ジュニアシートの腰部ベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



- 車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- お子さまがジュニアシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。



- エアバッグ装備の座席では、ジュニアシートを使用しないでください。

衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- お子さまを座らせたとき、**車両シートベルトの差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認**してください。



お使いいただく前に

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたが車両シートベルトをはずしてすみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、ジュニアシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。



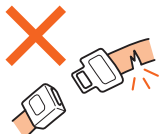
- お子さまが座っていないときでも、コネクターおよび車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



⚠注意

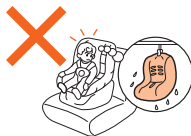
お使いいただく前に

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。

- ジュニアシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。



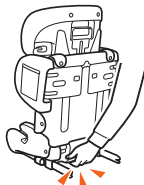
- シートカバーなどの縫製品をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 直射日光があたると、本体やシートベルトの差し込み金具などが熱くなり、ヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 背もたれと座面の接合部に指などをはさまないように注意してください。



- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- お子さまを乗せた状態で、取り付け・取りはずし・持ち運びはしないでください。

安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。



- ジュニアシートを通常の椅子として使用すると、転倒してケガの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- 車両座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、ジュニアシートを取り付けないでください。ジュニアシートがしっかり固定されません。

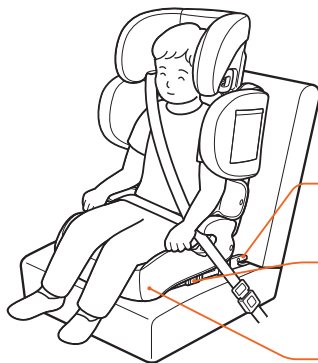


- 走行中は、ジュニアシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがジュニアシートに触らないようにしてください。
- ジュニアシートを風雨にさらさないでください。
- ジュニアシートの操作や調節をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。

⚠ 日常の点検

ジュニアシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

※5ページおよび22ページ車両の固定方法Aで取り付けの場合。



コネクターが車両のISOFIX取付金具にしっかりと固定されていること

コネクター解除レバーのインジケーターがロック状態(緑色の表示が見える状態)になっていること

ジュニアシートが車両座席にしっかりと固定されていること(ベースを前後左右にゆすり、確認してください)

お使いいただく前に

組み立て

工場出荷時、本製品は背もたれと座面がはずれた状態になっています。



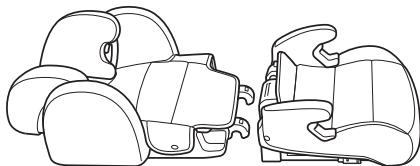
注意

- 組み立てるときは、平らで柔らかい床の上で行ってください。製品の破損や床への傷つきを防ぎます。
 - 組み立てるときは、周囲の人にも気をつけて指などはさまないように注意してください。
 - 組み立てたジュニアシートを持ち運ぶ場合は、図のように持ち、**背もたれと座面の接合部に指をはさまない**ように注意してください。
- ※ 組み立てたジュニアシートの背もたれと座面は動きます

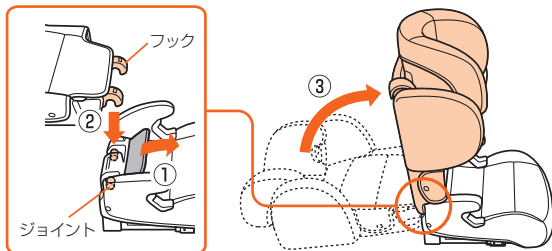


背もたれの取り付け

- 1 背もたれと座面を平らで柔らかい床の上に置く。



- 2** ① ジョイント部分の座面カバーをめくり、
 ② 背もたれのフックを座面のジョイントに合わせ押し込む。
 ③ 合わせた状態で、背もたれが座面に当たるまでゆっくり起こす。
 ※起こす時に、2回突起を乗り越えます。「背もたれの使用範囲」参照



お使いいただく前に

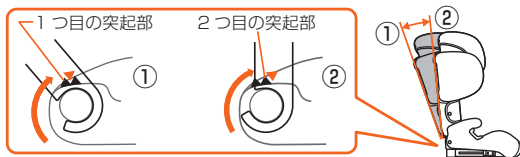


警告

背もたれと座面は必ず取り付けてご使用ください。

背もたれの使用範囲

- ① 背もたれを水平に倒した状態から起こしていくと1つ目の突起部を乗り越えます。
 ② さらに起こすと2つ目の突起部を乗り越え、背もたれを自立させることができます。
 背もたれは、1つ目の突起を乗り越えたところから2つ目の突起を乗り越えたところの間で使用してください。

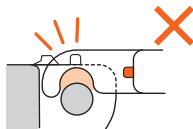
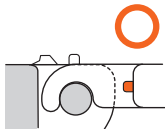


組み立て

ワンポイント



フックがジョイントから浮かないようにセットしてください。



- 3** 本体を起こした後、背もたれを前後に動かし座面とジョイントが確実に連結されていることを確認してください。

※取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

お使いいただく前に



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、ジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html

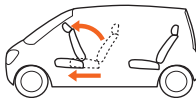


使
い
か
た

- 1** ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。

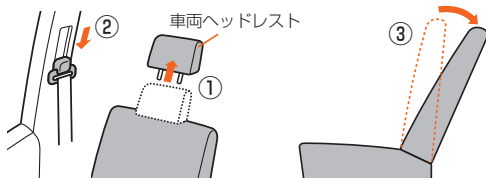


- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。



取り付け準備

- 2** ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
※取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
②車両シートベルトの高さが調節できる場合は、1番下まで下げる。
③車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。



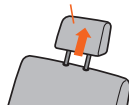
使
い
か
た

ワンポイント

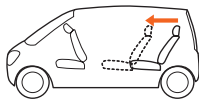


- 車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。

車両ヘッドレスト



- 取り付け座席にスライド機能が付いている場合、座席を前にスライドさせると、より確実に取り付けできます。



車への取り付けかた



以下の2通りの取り付けかたができます。

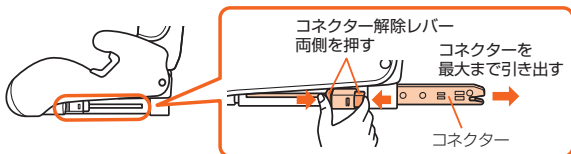
お子さまの身長 100cm ~ 150cmまで		
お子さまの拘束方法	車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	コネクターと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

Aでの取り付けかた

1 コネクターを引き出す。

本体側面のコネクター解除レバー両側を押しながら、左右のコネクターを最大まで引き出す。

※左右それぞれ作業を行ってください。



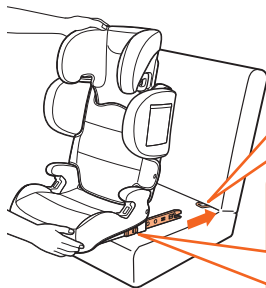
使
い
か
た

車への取り付けかた

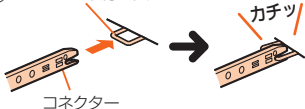
2 ISOFIX 取付金具にコネクターを取り付ける。

- ① 車両座席の左右 ISOFIX 取付金具に「カチッ」と音がするまで、それぞれコネクターを差し込む。
- ② 左右のコネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。

使
い
か
た



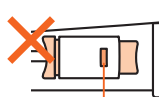
① ISOFIX 取付金具



② コネクター解除レバー



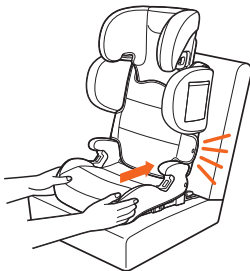
インジケーター
(緑：ロック)



インジケーター
(赤：ロック解除)

3 ジュニアシートの背面が車両背もたれに接するまで、座面を押し込む。

- ① 座面側面を持ち、ジュニアシート背面が車両背もたれに接するまでしっかりと押し込む。反対側も同様に押し込み、左右均等に車両背もたれに接するよう調節する。
- ② 再度コネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



ワンポイント



- 座面を押し込む際は、左右で押し込み量の差が大きくなるよう確認しながら、調節してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んでもジュニアシート背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。

車への取り付けかた

4 ジュニアシートと車両背もたれとの間に、すき間がなくなるように調節する。



車両背もたれがリクライニングできない場合は、ジュニアシートの背もたれの角度を調節し、車両座席とのすき間をなくす。

使
い
か
た

背もたれの使用範囲

- ① 背もたれを水平に倒した状態から起こしていくと1つ目の突起部を乗り越えます。
 - ② さらに起こすと2つ目の突起部を乗り越え、背もたれを自立させることができます。
- 背もたれは、1つ目の突起を乗り越えたところから2つ目の突起を乗り越えたところの間で使用してください。



- 車両背もたれがリクライニングできる場合は、ジュニアシートの背もたれが「背もたれの使用範囲」の角度になるように調節してください。「背もたれの使用範囲」より倒れた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

- ジュニアシートと車両背もたれのすき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。



5 車両シートベルトで固定する。

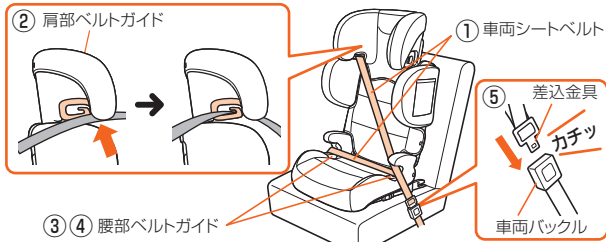
- ① 車両シートベルトを引き出す。
- ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
- ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
- ④ 肩部ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
- ⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



警告

急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもジュニアシートを固定してください。

使
い
か
た



車への取り付けかた



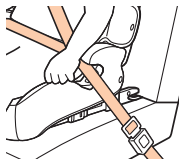
危険

コネクターを使用することで、車両シートベルトや車両バックルの取り付けの妨げになる場合は、コネクターを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。



警告

車両バックルや差込金具が製品本体にあたり車両シートベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。



使
い
か
た

Bでの取り付けかた

- 1** コネクターを収納する。
本体側面のコネクター解除レバー両側を押しながら、左右のコネクターを止まるまで収納する。
※左右それぞれ作業を行ってください。

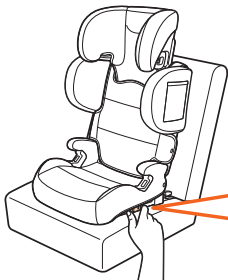


- 2** 車両シートベルトで固定する。
(26ページ5の手順「車両シートベルトで固定する」参照)

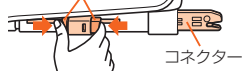
車からの取りはずしかた

Aで取り付けした場合

- 1** 左右のコネクター解除レバー両側を押し、インジケーターがロック解除（「赤色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



コネクター解除レバー両側を押し



コネクター解除レバー

インジケーター
(緑:ロック)



インジケーター
(赤:ロック解除)

使
い
か
た

ワンポイント

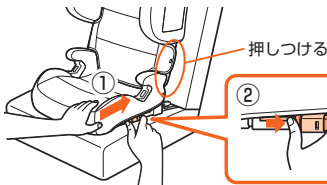


コネクターの解除が固いときは

コネクターがきちんと取り付けられていると、車両座席の反発力により、コネクターの解除が固くなる場合があります。固い場合は、以下の方法で片側ずつ車両座席からの反発を押し戻し、解除を行ってください。

- ① コネクターを解除したい側の本体座面を車両シートに押しつけ、
- ② コネクター解除レバー両側を押しす。

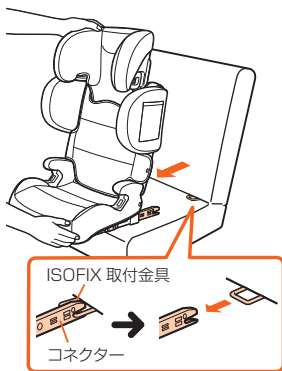
車両座席がリクライニングできる場合は、倒すとはずしやすくなる場合があります。



押しつける

②

2 ISOFIX 取付金具からコネクターをはすす。

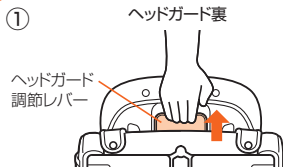


ヘッドガード位置の調節のしかた

お子さまの成長にあわせ、ヘッドガードの位置を変えて使用します。
ヘッドガードの位置は、11段階に調節することができます。

- ①ヘッドガード調節レバーを引きながら、高さを調節する。
- ②適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離す。
- ③ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。

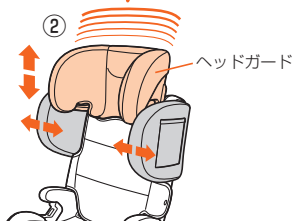
使
い
か
た



ワンポイント



調節の際はヘッドガード調節レバーを確実に引き上げたまま行ってください。



ワンポイント



シート側面はヘッドガードの上下に連動して幅が調整されます。



ヘッドガード位置を調節時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。
また、同乗者の手元にも十分にご注意ください。
手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。

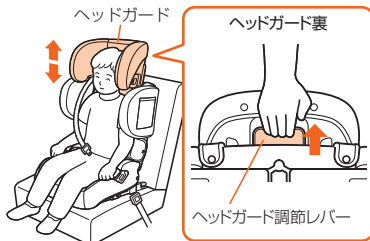


車両シートの背もたれ形状によっては、調整ができない場合があります。
一旦、車両から取りはずしてから調整を行ってください。

お子さまの座らせかた



- 1** 差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、ヘッドガードの高さをお子さまにあわせて調節します。
(31 ページ「ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)



使
い
か
た

ヘッドガード(肩部ベルトガイド)の高さの目安

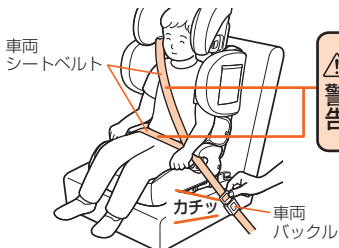
肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、やや高めにしてください。



肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドガードの高さを調節し直してください。

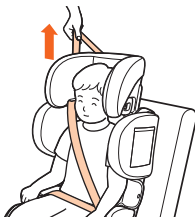
お子さまの座らせかた

- 2** ①車両シートベルトを引き出す。
②車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
③車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
④肩部ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
⑤「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



- 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- 車両シートベルト（腰部）は必ずお子さまの骨盤を押さえるようにすること。

- 3** 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト（肩部）を上へ引いて張り具合を調節する。



●本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。

●厚手の上着を着たお子さまを座らせると、車両シートベルトが腰部ベルトガイドからはずれる場合があります。その際は、上着を脱がせてから座らせてください。

●お子さまを下図のように座らせると、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。

• のけぞる、前かがみになる。



• お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。



• 中腰・正座・立てひざなどをする。



●お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



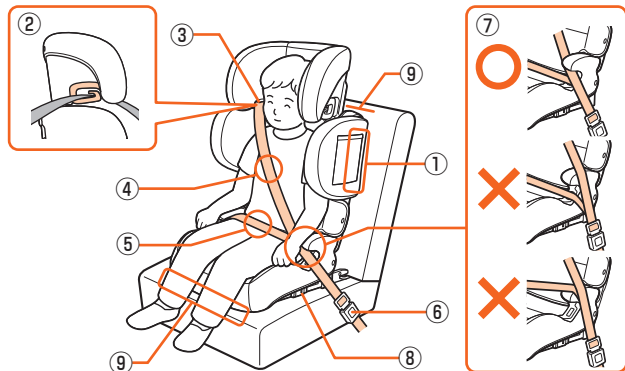
取り付け完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

車両への取り付け方法 A は①～⑨を確認

車両への取り付け方法 B は①～⑦を確認

- ①車両座席の背もたれとジュニアシートの間に大きなすき間がないこと。
- ②車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。
また、肩からはずれていないこと。
- ③肩部ベルトガイドの高さが正しく調節されていること。
- ④車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ⑤車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
- ⑥車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑦車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
- ⑧コネクター解除レバーのインジケーターがロック状態（緑色の表示が見える状態）になっていること。
- ⑨本体が左右均等に車両背もたれに接するよう調節し、進行方向に対してまっすぐになっていること。（コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。またジュニアシートを前後させ、コネクターが伸縮しないことを確認してください。）



ワンポイント



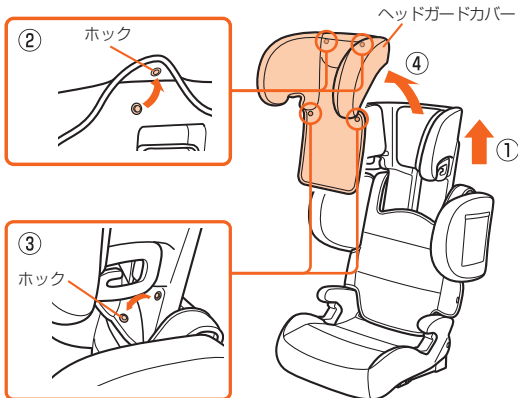
車両によってはシートのひじかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。その際は、ISOFIX 取付金具へコネクターを差し込み時に左右のコネクターが「カチッ」と音がするまで差し込まれたことを確認してください。その後、ジュニアシートの座面を持って前方向に引っ張り、ジュニアシートが動かず左右差による斜め取り付けがなく、しっかり取り付けられていることを確認してください。

カバーの取りはずしかた・取り付けかた

ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

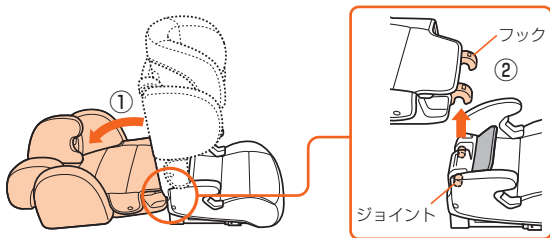
- ①ヘッドガードを最上段まで引き上げる。
(31 ページ「ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)
- ②ヘッドガード背面のホック(左右各 1 ヲ所)をはずす。
- ③ヘッドガード下部のホック(左右各 1 ヲ所)をはずす。
- ④ヘッドガードカバーを上から取りはずす。

※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



背もたれと座面のはずしかた

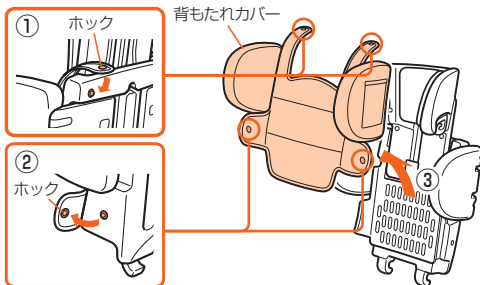
- ① 背もたれと座面を水平になるまで倒し、
- ② 背もたれを持ち上げて背もたれフックを座面のジョイントからはずす。



背もたれカバーの取りはずしと取り付け

- ① 背もたれカバー背面のフック (左右各 1 ヲ所) をはずす。
- ② 背もたれカバー側面のフック (左右各 1 ヲ所) をはずす。
- ③ 背もたれカバーを上から取りはずす。

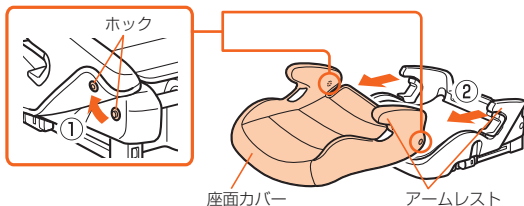
※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



座面カバーの取りはずしと取り付け

- ①座面カバーのフック（左右各1ヵ所）をはずす。
- ②アームレストから座面カバーを取りはずす。

※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



ワンポイント



座面カバーを取り付けるときは、カバーの端を腰部ベルトガイドのすき間に差し込み、最後に全体を整えてください。



お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

洗濯上の注意

	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウェットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯機をご使用の際は、お使いの洗濯機の取扱説明書をよくお読みの上、洗濯してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 干すときは十分にすぎ、軽く脱水し、形をととのえてください。

本体のお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体を傷めるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本 体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光があたらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、背もたれカバー側面の取扱説明書収納ポケットに保管してください。

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後 10年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より 1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

コンビ ジュニアシート

お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーズプラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名		ロットNo.	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
		(座面側面のシールをご覧ください)	
お客様	お名前		お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒		TEL
販売店	店 名		TEL
	住 所		

修理×干

保証規定

1. 1度で使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社カスタマーズプラザにお送りください。
3. 保証期間内で次のようなものは有料修理になります。
- (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷やぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名を下記にご記入願います。
- ❶ 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ❷ レシート（領収書）を本書と一緒に保管してください。
 - ❸ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーマーケット、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ❹ 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

Combi

コンビ
ジョイントリップアドバンス
air シリーズ

コンビ株式会社

■ ホームページ
■ オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp
combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマーブラザにて対応いたします。

コンシューマーブラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマーブラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマーブラザホームページ combi.co.jp/soudan